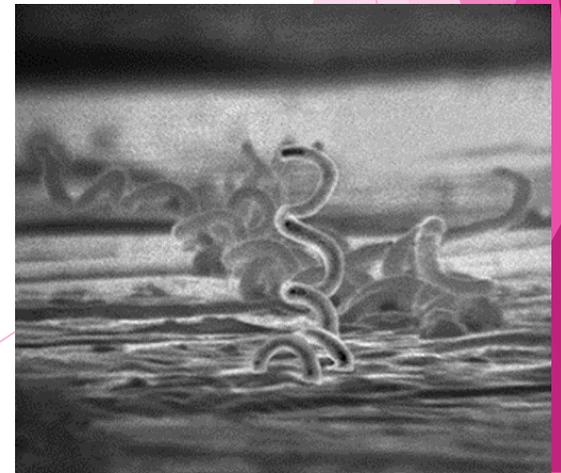


近年増加傾向にある 梅毒とは

山梨県感染症対策センター（YCDC）
感染症対策企画グループ

梅毒とはどんな病気？

- 梅毒は梅毒スピロヘータによる性感染症であり、性行為によって感染します。
- 生殖器同士の接触により感染することが多いため、陰部に潰瘍が出現することが多いですが、口に現れることもあります。
- 最初の症状は、感染からおおよそ1ヶ月後に梅毒スピロヘータが感染した部位に潰瘍が現れます。
- この時期を一期梅毒と呼びます。

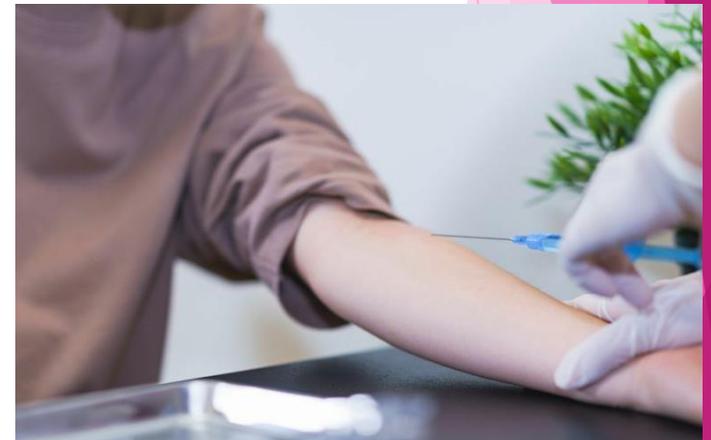


二期梅毒

- 一期梅毒を放置しておく、感染から1~3ヶ月後に二期梅毒へと進展します。
- 二期梅毒は皮疹（皮膚のぶつぶつ）が手のひらや足の裏を含めて全身に出現したり、発熱、だるさなどが現れます。
- 一期梅毒、二期梅毒のいずれも放置しておいても自然に症状は消失します。
- 全く症状がなくなった状態を潜伏梅毒と呼びます。潜伏梅毒の時期でも1年くらいは周りに感染させることがあります。
- また妊婦さんが感染することで、胎児が感染し皮疹、知的障害、麻痺などがみられることのある先天梅毒となることがあります。

梅毒の診断方法は？

- 梅毒の診断は、血液検査によって可能です。
- RPR、TPHAといった項目を測定し、それぞれの結果に基づいて診断します。
- TPHAという項目は過去に感染した人はずっと陽性となり続けるため、必ずしも今も感染を意味しません。
- もし梅毒と診断された場合は、あなたがうつしたかもしれない方にも梅毒の検査を勧めましょう。



梅毒の治療は？

- 梅毒は抗菌薬が有効な感染症です。
- 通常、ペニシリンを用います。
- 従来は飲み薬を2週～4週間内服して治療をしていましたが、2021年から点滴による治療が行えるようになり、1回の筋肉注射で治療可能となりました（感染から1年以上経過している後期梅毒では週1回注射を3回行います）。
- 治療を開始して24時間以内に熱が出ることもあり、ヤーリッシュ・ヘルクスハイマー反応と呼ばれますが、自然に治まるものであり解熱薬などで様子を見ていただいても大丈夫です。
- ペニシリンアレルギーのある方は別の抗菌薬も使用できます。詳しくはかかりつけ医にご相談ください。



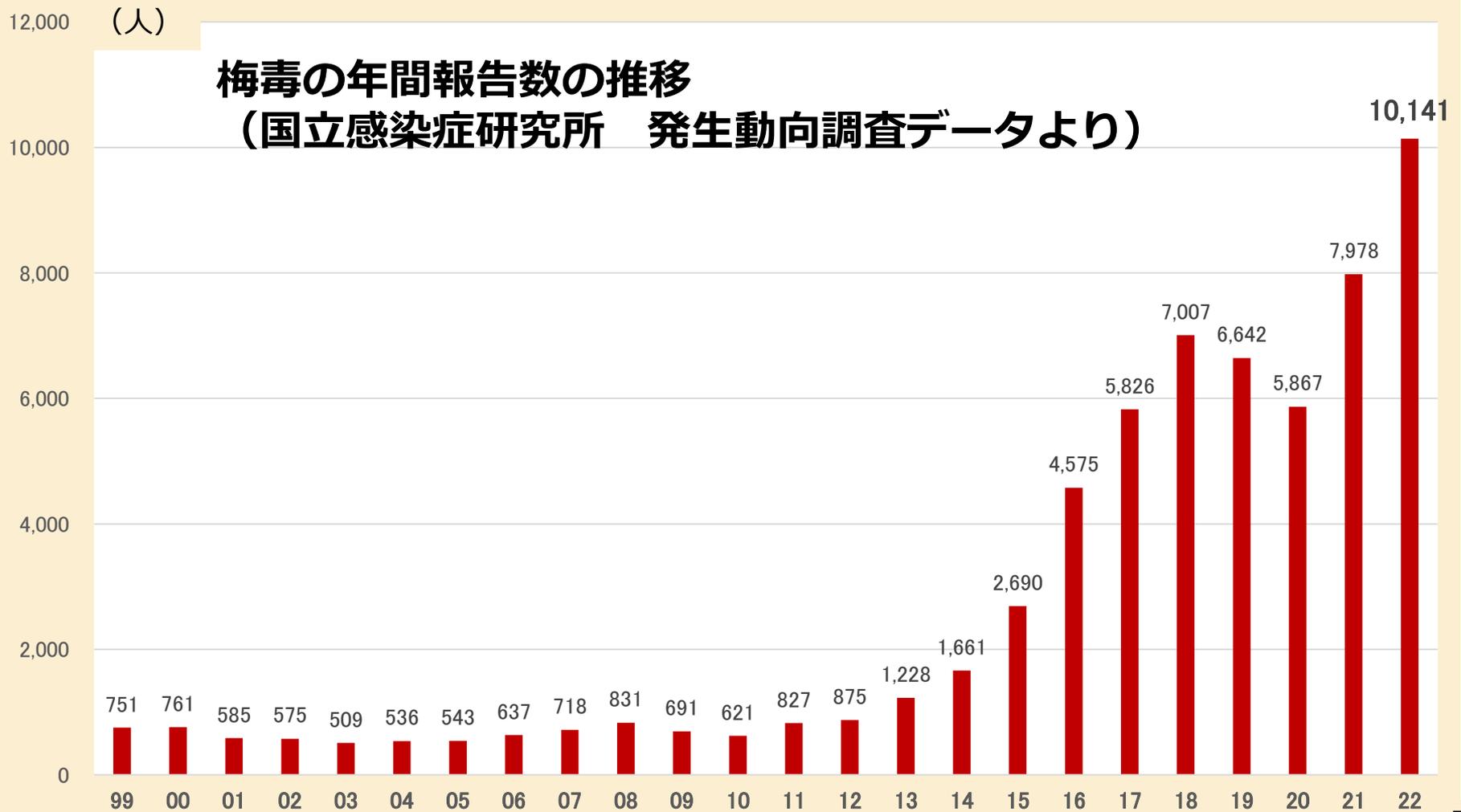
梅毒は何度でも感染する！

- 一度梅毒に罹ったことがある方でも、また梅毒に感染することがあります。
- 患者さんの中には5回感染した方もいます。
- 「一度感染したから自分は大丈夫」ということはありませんので、梅毒が疑われる症状のある方、不特定多数の性行为相手のいる方はぜひ検査を受けるようにしましょう。



梅毒に罹患した患者に関する現存最古のメディカルイラストレーション
(ウィーン、1498年)

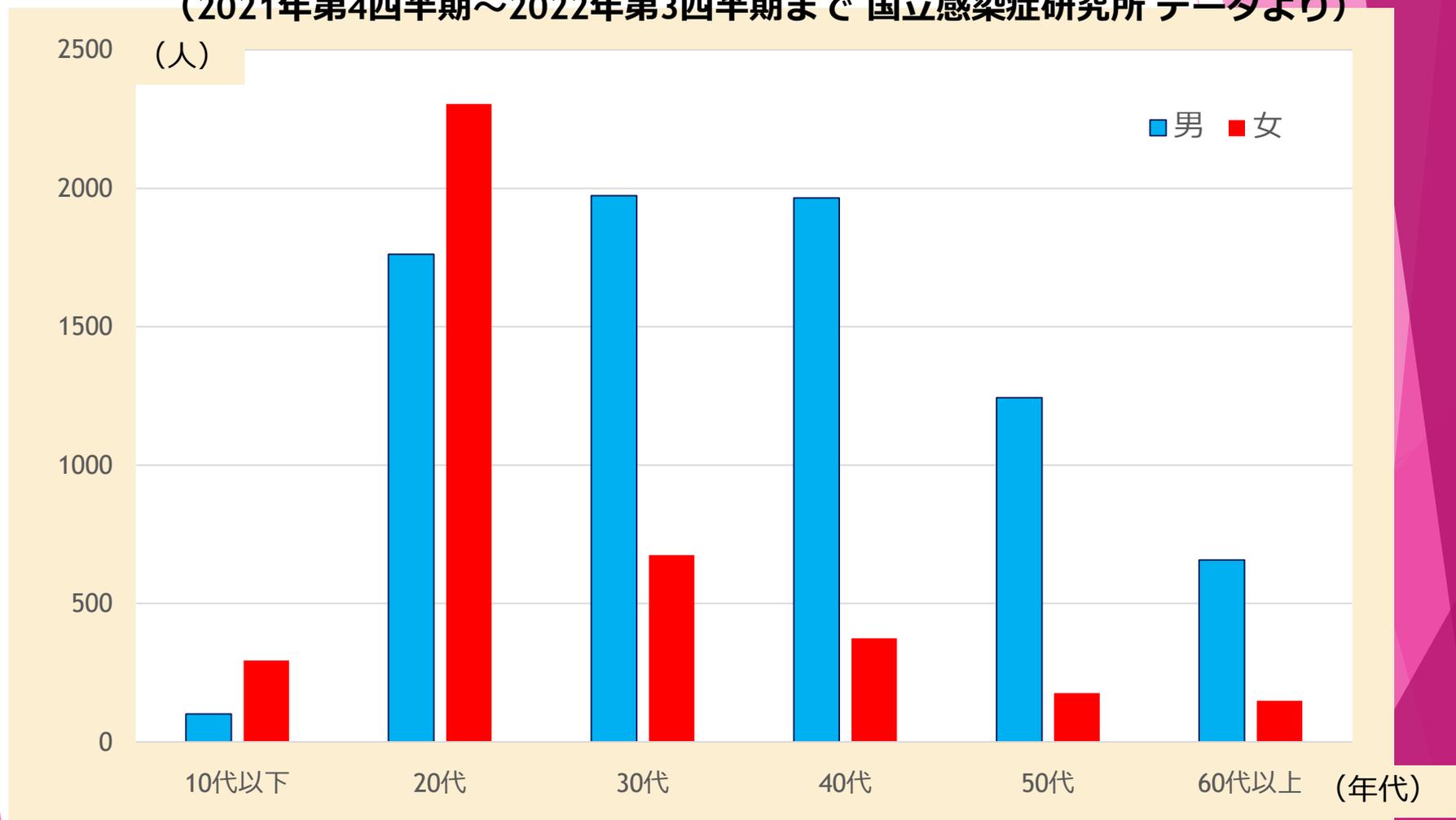
どのくらい梅毒は増えているの？



どんな人が感染しているの？ (年代別)

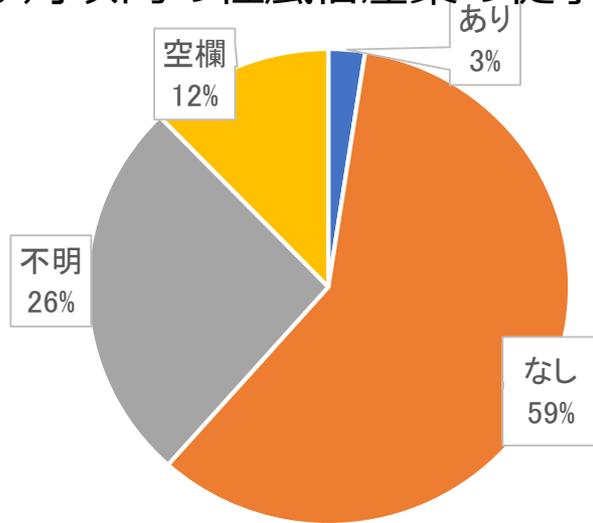
国内の梅毒患者の年齢別報告数

(2021年第4四半期～2022年第3四半期まで 国立感染症研究所 データより)



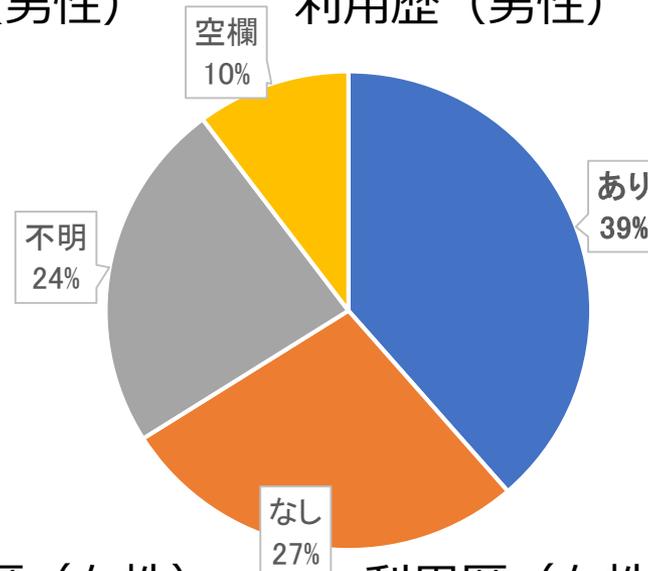
どんな人が感染しているの？ (行動傾向別)

直近6か月以内の性風俗産業の従事歴 (男性)



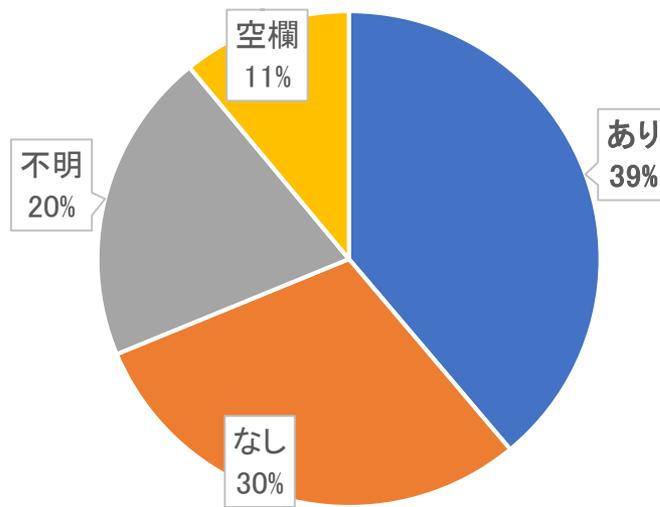
利用歴 (男性)

n=7,701



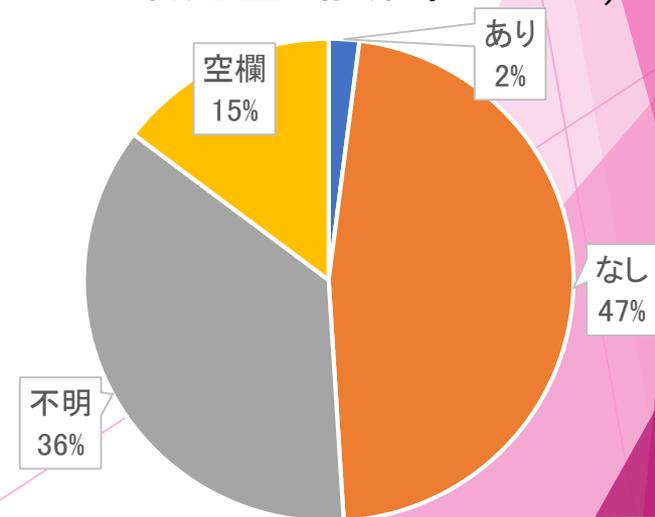
※2021年第4四半期
～2022年第3四半期
国立感染症研究所
データより

直近6か月以内の性風俗産業の従事歴 (女性)

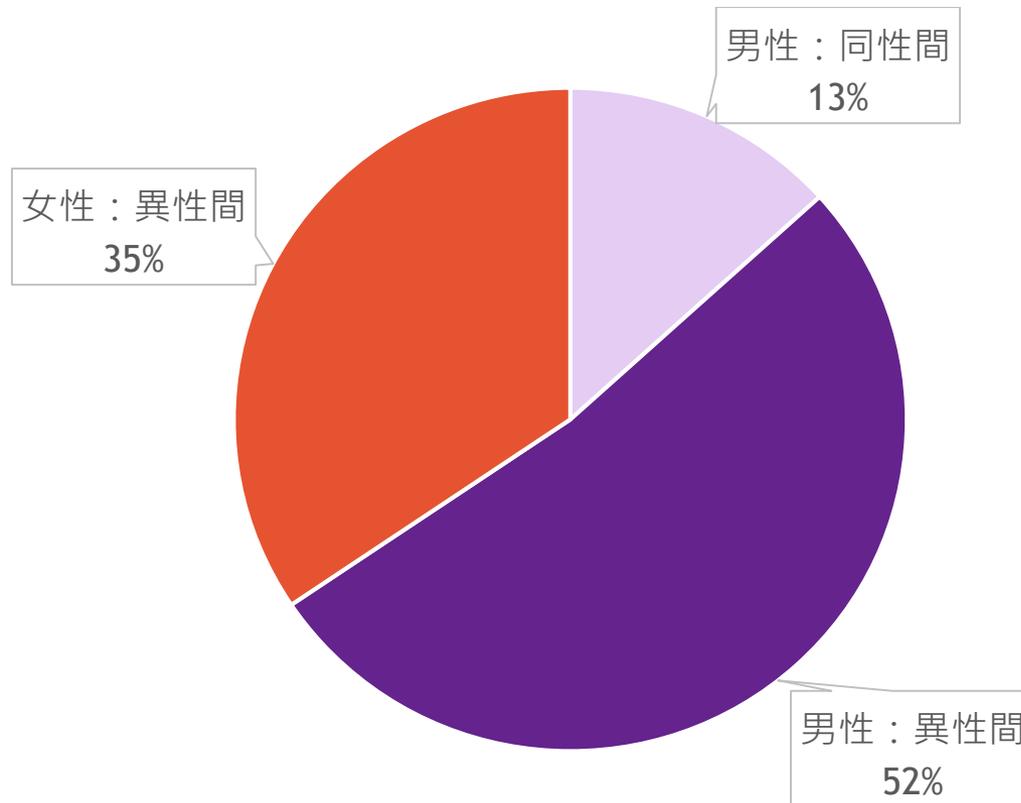


利用歴 (女性)

n=3,972



どんな人が感染しているの？ (性行動別)



N=8,650

※2021年第4四半期～2022年第3四半期 国立感染症研究所 データより

予防法は？

- ▶ 不特定多数の人との性的な接触を避けること、それにコンドームを使うことが重要
- ▶ しかし、コンドームだけでは100%防げません。オーラルセックスやキスで感染することもあります。
- ▶ コンドームをつけていても、感染者の粘膜や傷のある皮膚に直接接触すると感染することがあるので、注意が必要です。
- ▶ パートナー以外の人と性的な接触をするなど、感染の心配がある行為をしたのであれば、※検査を受けに行きましょう。

※ 感染した直後だと、検査でわからないケースがあります。感染から6週間たっていると、ほぼ確実に感染の有無が判定できるようになります。